

# 建築プランニング・デザイングループ

2つのそうぞう力をもって人とのつながりをデザインする

## 【PICK UP】地域住民、技術者と共に考える町並み保存のガイドライン

たつの市龍野伝統的建造物群保存地区は、令和元年12月に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。15.9haのエリア内の建物のうち113件が伝統的建造物に特定され、これらの伝建物の修理を行う場合は、原則として創建当時の姿に復原することが求められます。一方エリア内の伝建物以外の建物を新築、改築する場合には、外観デザインの根拠となる基準が必要となります。そこで今後、修理や修景に関わる地元住民、設計士、施工業者、専門業者の方に参集いただき、町歩きを行って外観の特徴を再確認するとともに、屋根や色彩など個々の基準について、意見交換をしながらガイドラインをまとめました。今後は、このガイドラインに沿って町並みの整備が進められていくものと考えます。

また、重伝建地区選定を契機とした「**住民が主体になるまちづくりビジョン**」の策定にもアルパックが関わっています。



↑ガイドラインパンフレット  
今後ご期待ください  
技術検討会の様子→



## 【建築プランニングデザイングループがこれまでに関わった重要伝統的建造物群保存地区】

- 丹波篠山市篠山（城下町）  
2004年選定



- 豊岡市出石（城下町）  
2007年選定



- 丹波篠山市福住（宿場町・農村集落）  
2012年選定



- 養父市大屋町大杉（山村・養蚕集落）  
2017年選定



## 【PICK UP】老朽化した大学施設を再生し、持続可能な再編整備を構想する

### ■概要

公立大学法人名古屋市立大学における開学70周年記念事業として、滝子キャンパス学生会館の改修基本計画、実施設計及び工事監理を担当しました。

学生会館は1974年に竣工したRC造3階建て延床3,200㎡の複合施設です。施設は、1階食堂・カフェ、生協購買、2階談話室、大ホール、3階会議室、サークル室、音楽室等の機能構成となっており、これら主要諸室を対象とした内装及び照明・空調設備の全面的な改修を行いました。南面の外装は、65周年記念事業で整備されたレンガ広場と一体的なキャンパス景観を創るため、レンガタイル張りによるファサード改修を行いました。

居ながら改修工事のため、計画・設計段階から安全で効率的な工区分けを検討し、仮設計画、改修工程計画を提案しました。2020年10月には大ホール（NCUホール）にて開学70周年記念式典が執り行われ、学生・教職員の皆様に親しまれる学生会館として再生されました。

また、施設の長寿命化や市内4キャンパスの再編整備検討を行い、持続可能な大学施設としていくための「施設再編整備構想」の策定支援も担当しています。



【南面外観（改修後）】

外壁改修のタイル張りは、外壁材の落下を防止するピンネット工法を提案



【南面外観（改修前）】

- 構造：鉄筋コンクリート造3階建て
- 建築面積：1,566.40㎡
- 延床面積：3,196.34㎡
- 工事期間：2019年11月～2020年11月

ホールは、ダンス練習、吹奏楽、学内コンサート・イベント等の多様な利用形態のため、床材表面が摩耗しても柄切れせず、長期使用が可能な単層フロアシートを提案



【そてつ食堂】



【NCUラウンジ】



【70周年記念センター】



【NCUホール】

※そてつ食堂、NCUラウンジ、NCUホールの施設名称は、学内公募により決定しました。

## 【PICK UP】地域の保育・福祉の施設整備に継続的に関わる

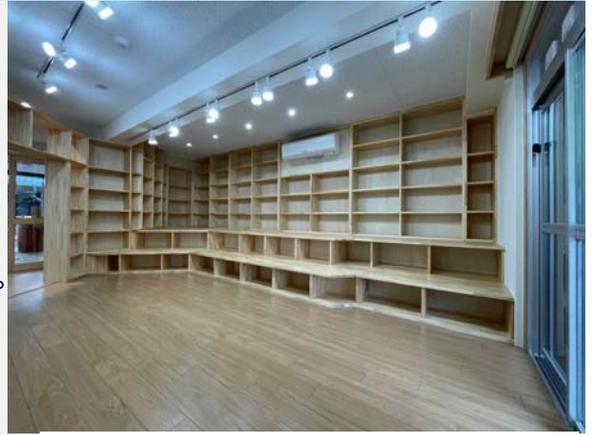
### ●だん王児童館改修 設計・工事監理

建築はモノが残ります。以前に関わった建物を新しい用途・仕様に改修してより長く使うことは今日ますます重要です。

檀王法林寺境内のだん王保育園は日本最初の夜間保育園として有名です。今回改修した児童館は弊社創業者の三輪の設計で1966年に平屋として建った後増築が繰り返されてきました。長年保育園の乳児棟として使われてきましたが、保育園が境内で分かれ利用上の課題があったことと耐震性の不足から、**保育園・境内の建替移転をマスタープラン作成の上、実施しました。**

2F建の1Fは乳児が移転した後に2Fの児童館を1Fに移転、2Fは集会等に利用できる多目的スペースに改修しました。1Fはスケルトン状態にして耐震補強した上で内装改修したものです。

児童館の主な利用者は就学前児童の親子と学校帰りの小学生です。主な機能は、図書コーナー、調理室、学習スペース、乳幼児ゾーンです。特に図書コーナーについては、元々本を大事にして運営されてきたこともあり、子どもたちがゆっくり本に親しめる独立したスペースを作りました。段状の壁一面の本棚、ニッチのスペース等、**子どもたちが本に囲まれて、それぞれが好きな場所で本を読めることを意図しました。**



工費を抑えるべく大工事で制作。梁型ギリギリまで天井高確保。



【西面外観】

●構造：鉄筋コンクリート・鉄骨・木造2階建て

●建築面積：225.60㎡

●延床面積：369.20㎡

●工事期間：2020年10月～2021年6月

外観はサッシ以外ほぼ触らず。事務室が境内に面するようになり、外遊びグッズを玄関から貸し出したり、事務見守りしやすくなった。



【玄関～乳幼児ゾーン】



【調理室（旧お昼寝室）】



【学習スペース(旧手洗コーナー)】



【新乳児棟(2020.3竣工)】

### ■2020年度のおもな業務

【住宅計画】千里ニュータウン及び周辺団地におけるストック再編事業化検討

【歴史文化】岸本家保存修理工事設計監理（篠山市）

【地域振興施設】（仮称）「道の駅」姫路整備基本構想

【行政施設】交野市新庁舎建設基本計画策定支援

【教育施設】向陽学府一体校等整備基本構想・基本計画  
京都橋中学校・高等学校教室増築基本計画

【福祉施設】老人福祉センター竹寿苑改築基本計画

【卸売市場】川崎市卸売市場機能更新に係る検討支援

【ランドスケープ】（仮称）高浜公園基本計画

【官民連携】愛知県営住宅PFI導入可能性調査  
東大阪市北蛇草住宅PFIアドバイザー



UR千里NT団地資源調査



岸本家保存修理工事



高浜公園ワークショップ

### ■チームメンバー

○高坂 憲治（取締役建築設計計画担当、一級建築士、JIA会員）

○新開 夏織（所員、一級建築士取得に向け奮闘中）

○杉本 健太郎（所員、一級建築士取得に向け奮闘中）

○塗師木 伸介（主任、一級建築士）

○原田 稔（チームリーダー、一級建築士、JIA近畿支部役員・京都地域会役員、こども環境学会員）

○鮎子田 稔理（主査、二級建築士、ハルテジマネージャー、福祉住環境コーディネーター2級、調理士）

○間瀬 高歩（チームリーダー、一級建築士、技術士、JIA東海支部設計競技委員長・愛知地域会総務委員長）

○増見 康平（主任）

○三浦 健史（チームリーダー、一級建築士、日本建築学会員、CASBEE建築評価員、JIHa会員）

○山崎 博央（執行役員、グループリーダー、一級建築士、JIA会員、こども環境学会員、JIHa会員）

○和田 裕介（チームリーダー、一級建築士）

○金 誠（ホートスタッフ）

### ■社会活動等

○JIA近畿支部京都地域会「建築と子供たち」の活動

京都の町家や歴史的建造物の探検をしたり、家やまちの模型を作るワークショップを開催し、子供たちに建築を通じて、創造性を育む教育活動を行っています。



○JIA東海支部愛知地域会「子どもの建築教室」の活動  
名古屋の小学校で、児童が楽しく造形制作に取り組み、空間体験を通じ、建築や街への関心を高めていく活動を行っています。

